



2018年11月6日

会社名 株式会社マキヤ
 代表者名 代表取締役社長 川原崎 康雄
 (コード番号 9890)
 問合せ先 取締役執行役員経理部長
 竹島 剛
 (TEL. 0545-36-1000)

2019年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年5月8日に公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の業績予想と実績値におきまして、差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

I. 2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異(2018年4月1日～2018年9月30日)

1. 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,140	290	350	175	17.52
今回発表実績(B)	32,021	344	406	229	23.00
増減額(B-A)	881	54	56	54	
増減率(%)	2.8	18.6	16.0	31.2	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期連結累計期間)	30,771	188	243	149	14.95

2. 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,090	235	290	137	13.72
今回発表実績(B)	31,969	290	347	192	19.30
増減額(B-A)	879	55	57	55	
増減率(%)	2.8	23.6	19.8	40.7	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期累計期間)	30,722	151	202	123	12.36

3. 業績予想との差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間は、「エスポット(フード)」、「業務スーパー」、「マミー」の各『フード(食品)部門』の売上高が好調に推移し、売上高、営業利益及び経常利益がそれぞれ業績予想を上回りました。

四半期純利益につきましては、台風被害による災害損失を36百万円を計上したものの、業績予想発表時に予見していた特別損失事項が発生しなかったことと、税金負担率が想定より軽減されたこと等により業績予想を大幅に上回る結果となりました。

なお、通期業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)につきましては、現時点で変更はありません。

以上